



2000億行、1024項目のデータを
”瞬間 検索” / ”なめらか ブラウズ”

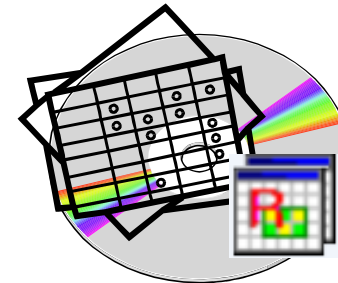
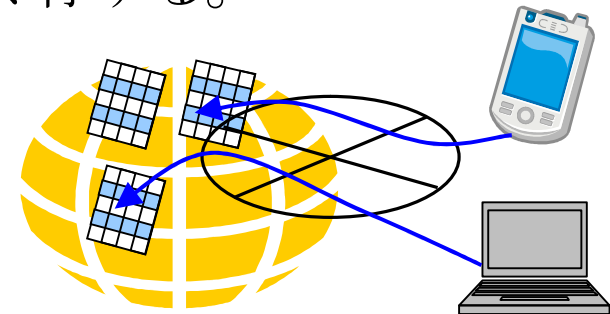
ターボ DataReader / ターボ DataWriter のご紹介

2011.10

株式会社ターボデータラボラトリー

ターボ DataReader / DataWriter の目的

- 巨大データのコストを0に近づける。
 - ハードディスク1台で記録・再生できる。
- 巨大データをインターネット上で共有する。
 - サーバに置くだけ。
- 巨大データを手元に保管する。
 - パーソナルゲノム情報など。
 - コンテンツに無償リーダを添付して保管・配布する。





ターボ DataReader / DataWriter とは

1. “ターボ **DataWriter**” は、
 - A. 1台のPCで実行でき、
 - B. 最大2000億行 x 1024項目の表形式データ、
または相当する XML ドキュメント群を
 - C. **D5A** ファイル に変換できます。

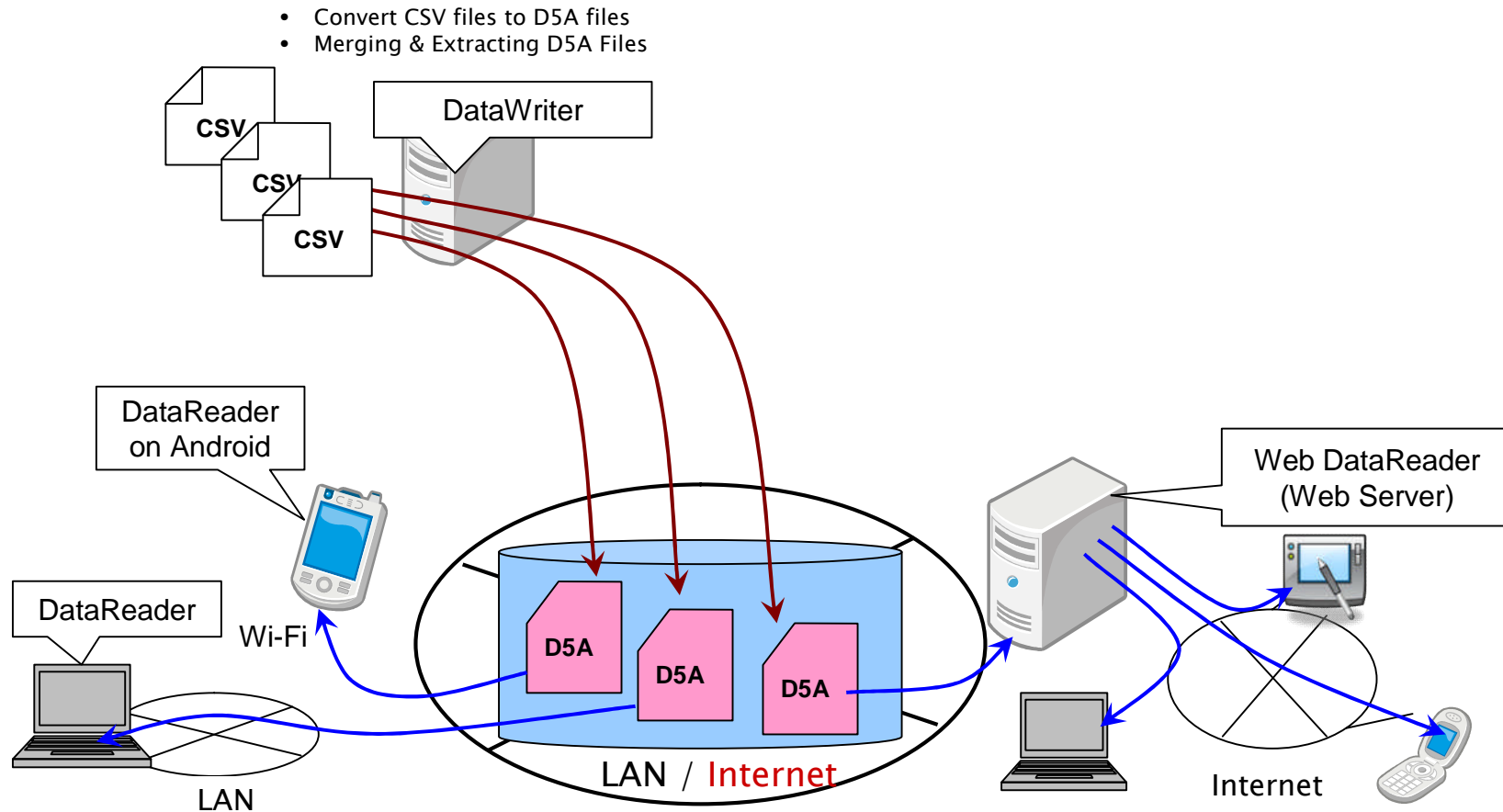
2. **D5A** ファイルは以下の特徴を持つ **ファイルフォーマット**。
 - A. インターネット上で共有可能
 - B. XMLドキュメントも格納可能
 - C. 暗号化され、一定のセキュリティを保てます

3. “ターボ **DataReader**” は、

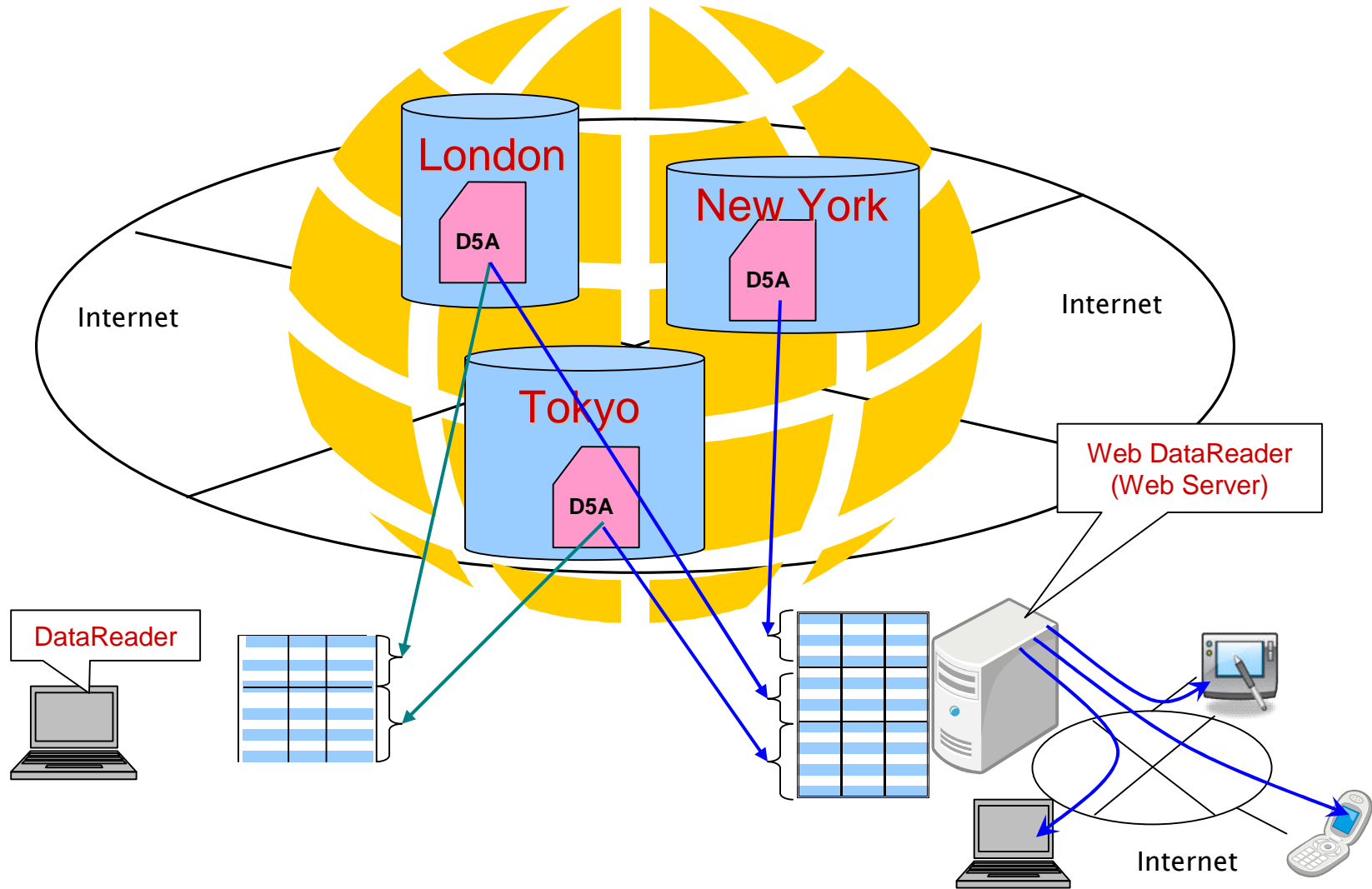
Windows / Linux / Android 上で動くソフトで

 - A. 無償、GUI部分はオープンソースで、
 - B. 全文検索 + 数値検索ができ、
 - C. 超高速なめらかにブラウズ可能で、
 - D. サブ秒でユニオン、ソートを行えます。

D5Aの作成と活用の方法

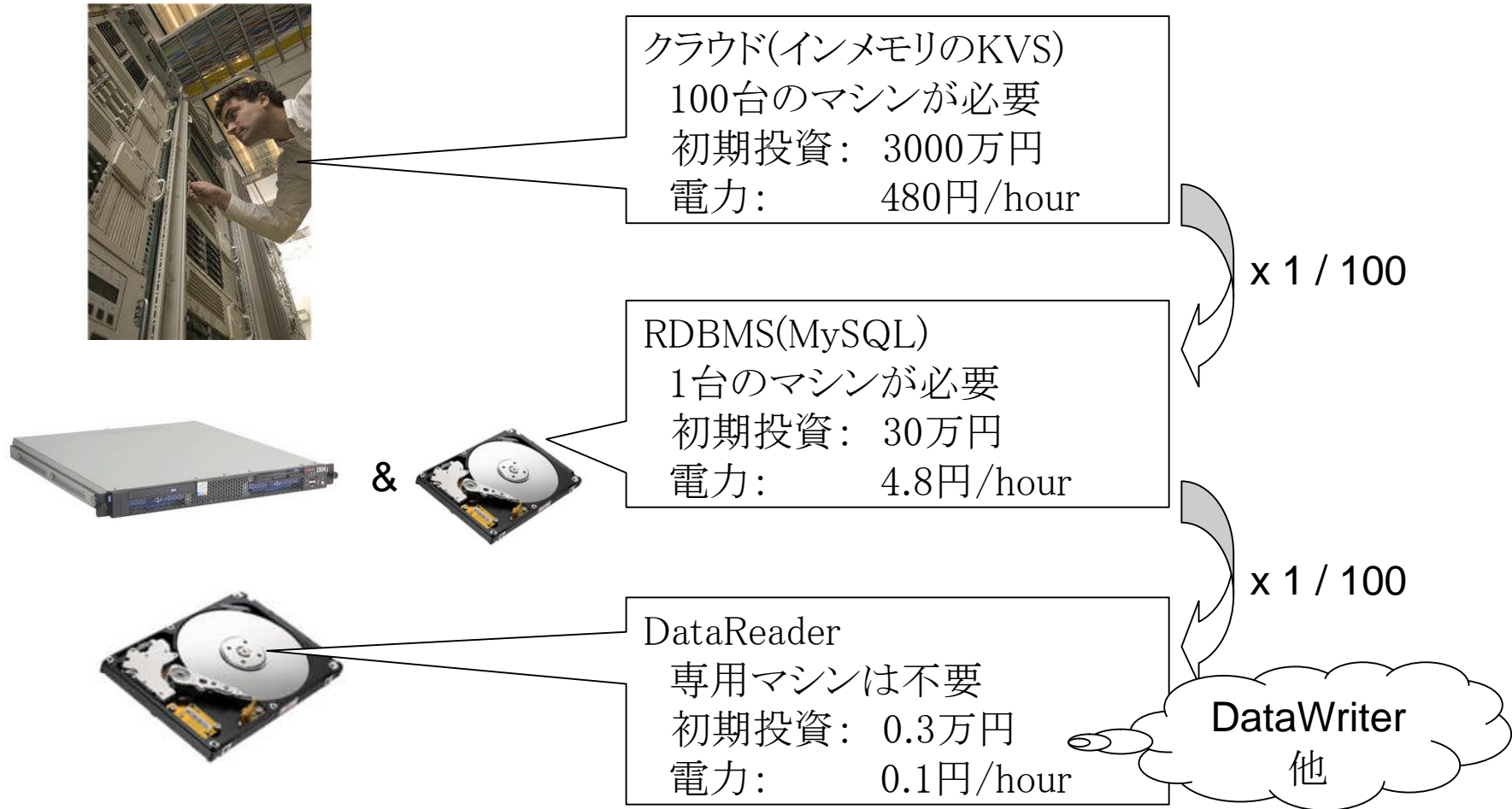


インターネットで共有可能



安さの構造

1TB のデータベースの初期・維持コストは、





想定される用例

大量情報の保管と活用

1. 計算出力の保管

例: Hadoop によるバッチ処理の出力の保管、検索、切り出し

2. イベント情報の保管

例: アクセスログ、メール記録、製造出荷記録、POSデータ、
装置のセンサ情報等の保管

3. コスト=ゼロが求められる情報保管

例: 廃棄システム内データの保管、完了プロジェクトのデータ、
パーソナルゲノム情報

4. データのワールドワイド共有

例: 世界各地の地殻歪の変化記録